

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



|      |           |     |       |                       |           |
|------|-----------|-----|-------|-----------------------|-----------|
| ボール名 | ワイルド・キャット | 投球者 | 徳江 和則 | センター                  | 平和島スターボウル |
| RG   | 2.500     | △RG | 0.048 | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール |           |

**テストボール：ワイルド・キャット**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

**比較対照ボール：オレンジ・インベーター**

フレアーの幅  インチ

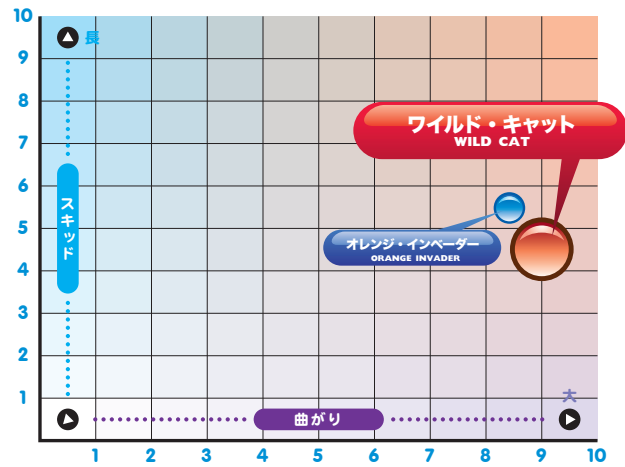
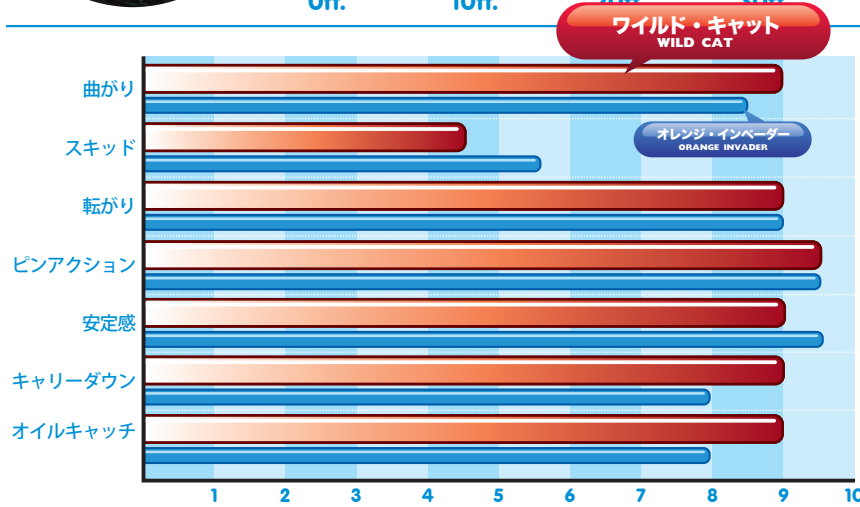
PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- パフ



### ボールの評価

ABSは時代の流れとともに進化を続けるボール開発競争に手を打つべく、かねてから新たな性能のボール開発に着手していました。新たなLAB(研究室)で約1年の歳月をかけてABS独自のカバーストック、コアすべてにおいてALL NEWのテクノロジーで新しいブランド”Natural Enemies”(天敵)を発表できる日がきました。今回その第一弾で発売されるWILD CATは、ブランド名に込められた”すべてのボールにおいて天敵”のネーミングの如く、①ミッドレーンの安定感と強さ、②今までにないネジれるバックエンドリアクション、③Strong Continuous(強い継続的な曲がり)、④回転数の多い少ないに関わらず使用可能を開発コンセプトに仕上げられました。

WILD CATには新しい試みが2つ取り入れられており、一つはNatural Enemiesで開発されたカバーストックNE-WG70。特に”G”の頭文字をもつ新素材Grip Powder(粒子が大きい)は、ミッドレーンでの安定感を強化、バックエンドで大きなネジれと曲がりを生み出します。二つ目は3M Core(CEH)/スリーモーションコアで、コア自体が3つのウエイトブロックから構成されており、各々がControl(Front Area)、Energy(Mid Area)、Hook(Backend)を調整する役目を担っています。このWILD CATはミッドレーンの安定感と強さと今までにないネジれるバックエンドリアクションを求め、山本勲プロ・川添奨太プロをはじめとするABSテスターで幾度となく作り直しが行われました。その答えはパフォーマンスはお見せすることができるでしょう。発売前からプロスタッフへの供給はもちろんのこと、ABS初となるPV配信、このNatural Enemiesが今後ABSで大きなウエイトを占めるブランドであることは間違いありません。

### 特記事項

**新ブランドNatural EnemiesのWILD CATの新開発カバーNE-WG70と3M Coreの組み合わせは、過去にない性能で皆様を魅了するでしょう。**